

【取扱い厳重注意】

平成24年4月19日

聴取結果書

東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会事務局


局員 岡田 幸大

平成24年4月19日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証のため、関係者から聴取した結果は、下記のとおりであるので報告する。

記

第1 被聴取者、聴取日時、聴取場所、聴取者等

1 被聴取者

東京電力 福島第二原子力発電所 放射線安全グループ 

2 聴取日時

平成24年4月19日午後2時20分頃から同日午後3時00分頃まで

3 聴取場所

Jヴィレッジ女子寮

4 聴取者

岡田 幸大 参事官補佐

5 ICレコーダーによる録音の有無等

あり

なし

第2 聴取内容

別紙のとおり

柏崎刈羽原発の支援APDの発見に係る経緯

第3 特記事項

以上

【取扱い厳重注意】

別紙

1. 被聴取者について

私、■■■■は、福島第二原発（以下「2F」という。）の放射線安全グループである。震災後は、主に本部の保安班で環境放射線の測定や計測器の管理を行っていた。

2. 柏崎刈羽原発の支援 APD の発見に係る経緯について

福島第一原発（以下「1F」という。）に送られるはずだった柏崎刈羽原発（以下「KK」という。）の APD の充電器が 2F に送られているということは、4 月 1 日に探しに行けと言われた時に初めて聞いた。4 月 1 日に APD の充電器探しに行ったことは、私の日記に書いてある。

朝 8 時からの保安班のミーティング後、保安班の GM の誰かから、予備品倉庫に探しに行くよう指示を受け、すぐに、復旧班の電気機器グループの■■■■氏と 2 人で向かった。予備品倉庫は、事務所から 1 km 近く離れたところにある。

充電器のある場所は■■■■氏が知っていたので、私は■■■■氏についていき、KK の APD の充電器であることを確認した。なので、捜索に行ったというよりは、確認に行ったという感じである。事故の半年ほど前に 2F の充電器を新しくする計画があり、私は KK の最新型の APD の充電器を見に行っていたので、「APD と充電器があるはずだから見に行ってくれ。■■■■氏が 1F に持って行ってくれるはずだから、KK のものであることを確認してくれ」と言われていた。

充電器は 5 台あったが、1 台ずつ不透明のピンクの難燃シートで梱包されていて、中は見えない状態だった。充電器は、高さ 180cm、幅 50 cm、奥行き 30 cm 程度で、重さは 100 kg を超えるくらいだった。寝かせた状態で置いてあった。APD も一緒にあると聞いていたため、私は、APD を探した。探した時間は 5 分以内ぐらいである。倉庫にはあまり物がなく、見渡す範囲で数分探し、無いというのはすぐに分かった。■■■■氏も、充電器以外の物を倉庫に入れた記憶はないと言っていた。APD がその後見つかったという話は聞いていない。

発見した充電器 5 台は、午後の比較的早い時間に 1F からトラックで取りに来てくれた。この時は、私も予備品倉庫で充電器の積込みの手伝いをした。